第2学年　　国語科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2　学習を進めるにあたって

使用教材	国語2（光村図書）　新しい書写（東京書籍） 国語便覧（浜島書店）　漢字練習ノート（東京法令出版） すらすら基本文法（浜島書店）　国語の学習（明治図書）	持ち物	教科書、ノート、ワーク、月の詩、ファイル 他はそのつど連絡

学習方法	学校	・授業開始時に間に合うように準備をし、真剣に授業に取り組もう。 ・コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加する等、人の意見に耳を傾け、積極的に意見交換し、考えを深めよう。 ・大きな声で本や月の詩を読もう。また、月の詩は暗誦にもチャレンジしよう。 ・自分の考えをノートに書く習慣をつけ、工夫したノートを作るよう努力しよう。 ・授業の振り返りをしっかりしよう。
	家庭	・家庭学習の習慣をつけ、その日の復習をしっかり行おう（教科書を読む、ノートの見直し、自主勉強ノートへのまとめ等）。 ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、丁寧に学習しよう。 ・たくさん本を読み、「読む力」「想像する力」をつけよう。 ・自主勉強をしよう（発展的な調べ学習、語句の意味調べ等）。

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①国語への関心・意欲・態度	意欲的に国語学習に参加することができる。 提出物を自分の学力向上に役立てることができる。 授業の振り返りを通して、自分の課題を見つけ、次の学習に活かそうとすることができる。	授業態度　課題の提出状況 発言意欲　自主学習ノート ノートの内容　月の詩の暗唱 ベーシック(漢字)　学びのパスポート
②話す・聞く力	自分の考えをまとめて話したり、相手を理解しながら聞いたりすることができる。	音読・スピーチ　授業中の様子 発表(内容の充実) 聞き取りテスト
③書く能力	授業を通して気づいたこと、考えたことを的確に、わかりやすくまとめることができる。 適切な資料を集め、明確に文章にまとめることができる。	定期テスト　作文等 ノート（内容の充実） 学びのパスポート
④読む能力	文章の筋道をとらえながら正確に読み、内容を理解することができる。	定期テスト 発表（内容の充実） ノート(内容の充実)
⑤言語についての知識・理解・技能	言葉のきまりを理解し、漢字や語句などを正しく使うことができる。	定期テスト　書写作品 ノート等の提出物 漢字テスト

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	・見えないだけ	・作者の思いを受け止め、進んで朗読できる。・詩の形式、表現技法を見分けられる。
	・アイスプラネット	・内容を捉え、主人公の心の変化を読み取れる。
	・枕草子	・古典に関心を持ち、枕草子の世界を味わえる。
	・多様な方法で情報を集めよう	・多様な方法で情報を集め自分の考えをまとめられる。
	・対義語・類義語・多義語	・それぞれの語に対する理解を深める。
	・生物が記録する科学	・説明されている内容を的確に捉えられる。説明の仕方の特徴が捉えられる。
	・気持ちを込めて書こう	・相手に伝えたい内容を明確にし、それが伝わるように構成を工夫できる。
	・熟語の構成	・熟語の主な構成について理解できる。
	・新しい短歌のために	・短歌を読む楽しさを知り表現の美しさを味わえる。
2	・言葉の力	・要旨を捉え、自分の考えを広げ深められる。
	・文法への扉1（自立語）	・自立語の特徴と分類を理解できる。
	・メディアと上手に付き合うために	・メディアの特徴を理解し、関わり方を理解できる。
	・字のない葉書	・人物像を捉えそこに込められた筆者の思いを読み取れる。
	・モアイは語る	・事実や根拠を読み取り、筆者の意見を理解できる。
	・敬語	・敬語の種類や特徴について理解できる。
	・平家物語　扇の的	・古典の文章に慣れ、朗読できる。
	・徒然草	・内容や、作者のものの見方・感じ方を捉えられる。
	・漢詩の風景	・漢詩の基礎知識を学習し、内容を読み味わえる。
3	・毛筆（行書）	・毛筆の特徴を理解し、字形に気をつけて書ける。
	・君は「最後の晩餐」を知っているか	・評論文を読む楽しさを味わい、ものの見方や考え方を広げられる。
	・話し合って考えを広げよう	・話し合うことの意味や価値を実感することができる。
	・文法への扉2（用言）	・用言の活用の方法を理解できる。
	・根拠を明確にして意見を書こう	・自分の立場・伝えたい事実等を明確にし、文章の構成を工夫できる。
	・同じ訓・同じ音を持つ漢字	・適切な意味の漢字を使い分けられる。
	・走れメロス	・場面の状況と、人物の心情の変化を読み取れる。
	・文法への扉（助詞・助動詞）	・助詞、助動詞の特徴を理解できる。
	・方言と共通語	・それぞれの特徴や役割を理解できる。
	・科学はあなたの中にある	・事例と筆者の主張との関係を考えて、内容を読み深められる。

第2学年　　社会科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1 学習のねらい

【地理的分野】
・日本の地域的な特徴を理解し，地理的な見方や考え方を身につける。
・日本と世界の諸地域を理解しながら，各地域・地方の特徴を理解する。
・さまざまな地図や資料を読み取る能力を身につける。
【歴史的分野】
・近世から近代の日本の歴史の流れを理解しつつ，日本の文化や伝統を理解する。
・近世から近代にかけての日本の歴史と，当時の諸外国の歴史やその関連を理解する。
【共　　通】
・調べ学習や調査などで，資料を適切に選択して活用する能力を身につける。
・授業に積極的に参加し，課題を主体的に追究し，周りの意見を容れながら自分の意見をまとめ，教材や他者と対話する力を高める。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:新編　新しい社会「歴史」(東京書籍) 中学生の地理(帝国書院) 中学校社会科地図　初訂版(帝国書院) 補助教材:資料集,ワーク	持ち物	教科書,ノート, 地図帳,資料集, ファイル 他はその都度連絡

学習方法	学校	・授業の準備素早くし,服装・身なりを整え,早めに着席しておこう。 ・小グループの活動や学級全体での話し合い活動に積極的に取り組み,人の意見をよく聴き,その意見をふまえた発言を行い,話し合いを深めよう。 ・分かったこと,理解したこと,資料や既習事実,経験などの根拠をもとに学習課題に対する自己の考えを積極的に発言しよう。 ・集中して学習に取り組み,仲間の発言に対して簡単に納得をせず,疑問が解消するまでどんどん質問をしよう。 ・提出物は期限を守って提出しよう。忘れ物をしないようにしよう。
	家庭	・授業ごとに,授業ノートを中心に,新しく学習した内容をまとめたり,語句や用語などの意味を調べたりしてノートのスペースに復習しよう。また,授業の学習内容に関連することや疑問に思ったことなどを,教科書や資料集,自分でさがした文献資料・データ資料,新聞記事やインターネットなどで調べ,その追究を深めよう。 ・テストで間違った用語や内容についてもよく復習しておこう。 ・単元が済んだら,その単元のワークの問題をやっていこう。 ・ニュースや社会科,地理・歴史に関するテレビを見るように心がけよう。 ・毎朝,新聞を読むように心がけよう。

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な事象に対する興味関心を深め,それを意欲的に追究しようとする。また,課題を見つけ出したり,それを解決したりするため,自ら調べたり,他者と話し合ったりしようとする。	ノート等への自主的な復習や追究 学習活動への主体的な参加や態度 課題や提出物への取り組み内容 学びのパスポートでの自己の学習を調整する態度
②社会的な思考・判断・表現	社会的事象から問題を見出し,社会的事象の意義や特色,相互の関連を多角的に考察し,根拠を踏まえ公正に判断するとともに,その追究や考察した過程や結果を適切に表現する。	単元レポート　振り返りシート 思考・判断を必要とする発言 ノートやワークシートにおける考えや感想 調べたことや追究したことを表現する課題 定期テスト
③資料活用の技能	グラフや資料から,社会的事象の全体との比較や相互の関連性について,正しく理解しグラフや資料の表現する内容を読み取り,有用な情報を適切に選択して活用する。	資料・史料・グラフ・絵・写真・表のよみとり,資料を活用する課題 定期テスト
④社会的事象についての知識・理解	社会的事象に関する基礎的な内容について,それらを理解しわかりやすく説明することができる。	小テストや定期テスト

4 学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1

第2学年　　数学科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

基礎的・基本的な知識及び技能を修得し、それらを活用して問題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくみ、数学の学習に主体的に取り組む態度を養います。

・数学的活動の楽しみ、数学のよさを実感することができるようにします。

・事象を数理的に考察し、表現する能力を高めます。

・活用して考えたり、判断したりしようとする態度を育てます。

2　学習を進めるにあたって

使用教材	未来へひろがる数学2(啓林館) 完成問題集(三泗数学研究協議会) 数学のベーシックマスター(新学社) 新学習指導要領追加補助教材(文部科学省)	持ち物	教科書、ノート、 ファイル、完成問題集 ベーシックマスター
学習方法	学校	・授業開始時には、授業の準備をして着席しよう。 ・授業中は、自分の考えを持ちながら，先生や友達の話を集中して聴こう。 ・授業中、発言や質問を行うなどして、積極的に参加をしよう。 ・話のポイント、自分で気づいたことなどをノートに書き留めておこう。 ・提出物や宿題は期限を守って提出しよう。 ・授業の振り返りをしっかりしよう。 ・わからないところを残していかない気持ちで授業に臨もう。	
	家庭	・授業で習った所はノートやワーク，教科書等でその日に見直し，問題練習をして理解を深めよう。 ・間違えたところは，赤で正しい解き方に訂正しよう。そして，どこで間違えたのかを振り返り，同じ間違いをしないよう，もう一度解いたり，同じような問題をしよう	

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①数学への関心・意欲・態度	課題への取り掛かりが早く、意欲的に取り組もうとする。 繰り返し問題を解き、確実に習得しようとする。 宿題や提出物を丁寧に取り組む。 自分の課題を見つけ、やり遂げようとする	授業中の発言，ノート等への記述内容，提出物・宿題，ベーシック(計算)，学びのパスポートなど
②数学的な見方や考え方	すでに学んだことをもとにして、新しい性質や考え方を自ら発見できる。 自分の考えを筋道をたてて説明することができる。	授業中の発言，ノート等への記述内容，定期テスト・小テスト・実力テストなど

③数学的な技能	計算を迅速かつ正確にすることができる。 グラフをかいたり、式を求めたりすることができる。 数学的用語を用いて正しく記述することができる。	授業中の発言，ノートへの記述内容，定期テスト・小テスト・実力テスト ベーシック（計算）など
④数量や図形などについての知識・理解	用語や定理の意味や仕組みを理解している。	授業中の発言，ノートへの記述内容，定期テスト・小テスト・実力テスト， ベーシック（計算）など

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	資料の活用（昨年度未履修）	①目的に応じた資料を収集し，整理することができる。 ②整理した資料を読み取り，物事を判断したり，説明したりすることができる。 ③いろんな値についての意味を理解し，利用することができる。
	第1章　式の計算 1．式の計算 2・文字式の利用	①文字を用いた式に関する用語の意味を理解し，正しく使えることができる。 ②同類項をまとめる計算や簡単な多項式の加法，減法，および単項式どうしの乗法，除法の計算に取り組むことができる。 ③数量の関係や数の性質を文字を用いた式に表して考えることができる。 ④目的に応じて簡単な等式の変形ができる。
	第2章　連立方程式 1．連立方程式	①2つの文字を含む等式から文字の値が求められることがわかる。 ②連立方程式の必要性と意味，および，その解の意味を理解することができる。 ③加減法や代入法の方法を理解し，それらを用いて連立方程式を解くことができる。 ④　問題解決の場面で連立方程式を活用し，問題を解決することができる。
2	2．連立方程式の利用	
	第3章　一次関数 1．一次関数とグラフ 2．一次関数と方程式 3．一次関数の利用	①一次関数の意味を理解し，身の回りの事象の中から，関数や一次関数とみられるものを見つけ，表現することができる。

		②一次関数の特徴を知り，変化の割合を求めたり，表や式からグラフをかいたり，グラフから式を求めたりすることができる。 ③一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフの関係や，連立方程式の解とグラフの関係など，複合的な見方ができる。 ④一次関数の意味や変化の割合とグラフの傾き，切片の意味やグラフの特徴について理解している。
	第4章　図形の調べ方 1．平行と合同 2．証明	①平行であることや三角形の合同を示す方法などを考え，筋道を立てて考えようとする。 ②三角形の合同条件を導くことができ，2つの三角形が合同かどうかを合同条件を用いて考えることができる。 ③対頂角，同位角，錯角，三角形の内角や外角，多角形の内角の和・外角の和を求めることができる。 ④対頂角，同位角，錯角といった図形についての用語の意味を理解し，対頂角の性質，平行線の性質，平行線になる条件，合同な図形の性質，三角形の合同条件，三角形の内角・外角の性質，多角形の内角・外角を求める方法を理解している。
3	第5章　図形の性質と証明 1．三角形 2．四角形	①二等辺三角形，平行四辺形といった図形のそれぞれの性質を見つけ，理解することができる。 ②二等辺三角形の性質，直角三角形の合同を証したり，平行四辺形の定義から三角形の合同条件などを使って，平行四辺形の性質を導くことができる。 ③　平行四辺形の定義や性質を使って，図形の性質や辺の長さ，角の大きさを求めることができる。 ④長方形，ひし形，正方形と平行四辺形の関係，平行線による等式変形などについて理解している。
	第6章　確率 1．確率の意味 2．場合の数と確率	①確率の意味を理解し，身の回りの事象について確率を求めることができる。 ②同様に確からしいとき，場合の数の割合として確率が求められるよさに気づくことができる。 ③確率や場合の数を，樹形図や表などを用いて求めることができる。 ④確率の意味や場合の数の意味と，樹形図や表の使い方を理解し，説明することができる。

	第7章　箱ひげ図とデータの活用 1．箱ひげ図 2．データを活用して問題を解決しよう	①箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。 ②箱ひげ図を作成したり，四分位範囲を求めたりすることができる。 ③箱ひげ図や四分位範囲を用いて，複数のデータの傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断できる。

※２０２１年度より実施される新学習指導要領への移行期間のため、上記の学習内容の第７章を追加して新学習指導要領追加補助教材（文部科学省）を用いた学習指導を行います。

第2学年　　理科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探求する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2　学習を進めるにあたって

使用教材	教科書「未来へひろがるサイエンス1・2」 資料集、プリント、ワークブック	持ち物	教科書、ノート、資料集

学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・授業に集中しよう。 ・板書は手早く写し、重要箇所は強調しよう。 ・問題はまず自分で考え、わからなければたずねよう。
	家庭	・ノートを見直そう。またはまとめ直そう。 ・ワークブックの基本問題をやってみて習得すべき事柄や、定着していない内容をはっきりさせよう。→　学習した後再度問題をやってみよう。

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①関心・意欲・態度	授業に積極的に参加しているか。 提出物を自分の学力向上に役立てているか。 自然科学に興味があるか。	授業態度　持ち物の状況 提出物　振りかえり感想 ノート・プリントの提出状況・内容 定期テスト　学びのパスポート
②科学的思考	課題について論理的に考え、解決する方法を見出し、表現することができるか。	発言内容 実験観察レポート プリント内容　振りかえり感想 定期テスト　学びのパスポート
③実験観察の技能表現	事象を、ポイントを外さずに観察できるか。 実験器具を正しく安全に使用できるか。 レポートをきちんと書けるか。	実験中の態度、器具の扱い方 実験観察レポート 実技テスト 定期テスト
④知識理解	自然のきまりを理解しているか。 重要語句の意味を正しく理解しているか。	定期テスト 小テスト

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	〔化学〕身のまわりの物質 （昨年度未履修分） 3章　水溶液の性質 4章　物質のすがたとその変化	・身のまわりの物質についての観察や実験を通して、水溶液の性質、物質の状態変化について理解し、表現できる。
	〔地球〕活きている地球 （昨年度未履修分） 1章　大地がゆれる 2章　大地が火をふく 3章　大地は語る	・大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表にみられる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解でき、大地の変化についての認識を深めることができる。 ・日本には火山の噴火や地震などの災害が多いことを理解し、防災についての知識や関心を持つことができる。
	〔生命〕動物の生活と生物の進化 1章　生物の体と細胞 2章　生命を維持するはたらき	・生物の体は細胞から成り立つことを理解し、それを土台に動物の体のつくりとはたらき、その種類と生活についての知識を深める。
2	3章　感覚と運動のしくみ 4章　動物のなかま 5章　~~生物の移り変わりと進化~~ ※移行措置のため省略	・生物や生物をとりまく環境について興味・関心をもち、生命を尊重する態度をとることができる。
	〔物質〕化学変化と原子・分子 1章　物質の成り立ち 2章　物質を表す記号 3章　さまざまな化学変化 4章　化学変化と物質の質量	・化学変化における物質の変化や量的な関係を、実験を通して探究的に追求できるとともに、それらの現象を原子・分子のモデルを用いて微視的に考え、表現することができる。 ・多様な実験操作を安全かつ正確に行うことができる。
	〔エネルギー〕電流の性質とその利用 1章　電流の性質	・日常生活との関連をはかりながら、電流と回路や静電気、電流の磁気作用などの実験を通して、電流の性質や正体、電流のはたらきについて、回路図やモデルなどを使って表現し、説明できる。
3	2章　電流の正体 a　放射線の性質とその利用 （移行措置） 3章　電流と磁界	・電源装置や電流計、電圧計など、基本的な電気に関わる実験操作を安全かつ正確にできる。
	〔地球〕地球の大気と天気の変化 1章　空気中の水の変化 2章　天気の変化と大気の動き 3章　大気の動きと日本の四季 自然の恵みと自然災害 （移行措置）	・気象に関する観察・実験や気象観測、天気図や雲画像を活用した分析・解釈などを通して、天気変化のしくみと規則性を説明できる。 ・気象の変化と人間生活との関わりに関心をもち、地球の環境保全について考えることができる。

第2学年　　音楽科　学 習 計 画

四日市市立富洲原中学校

1 学習のねらい

表現活動
- 仲間と歌う喜びをわかち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。
- 歌詞の内容や曲想を味わい、表現を工夫できるようになる。
- 曲の構成を理解して、表現を工夫できるようになる。
- 学校行事への参加などを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。
- 基本的な発声方法や表現方法を身につけ、曲想を感じ取って歌うことができるようになる。
- パート練習やグループ活動に積極的に参加できるようになる。

鑑賞活動
- 「音楽を形づくっている要素」や「構造」を感じ取って、曲を感じ取って聴く能力を身につける。
- わが国の音楽に親しむ心情を育てる。
- 「音楽を形づくっている要素」や「構造」をもとに自分が感じたことを口頭や文章で表現できるようになる。

2 学習を進めるにあたって

<table>
<tr><td>使用教材</td><td colspan="2">教科書：中学生の音楽2・3上，下（教育芸術社）
中学生の器楽（教育芸術社）
補助教材：合唱曲集「MY SONG」（教育芸術社）</td><td>持ち物</td><td>・教科書
・MY SONG
・ファイル・筆箱</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習方法</td><td>学校</td><td colspan="3">・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。
・音楽は授業が勝負です。忘れ物に気をつけ、学習課題をしっかりととらえ、素直な気持で積極的に授業に参加しよう。
・男子は変声期で音域が狭くなるなど、思うように歌えない時期になります。自分の出しやすい音域で無理のない自然な発声を心がけよう。周りの人も温かく見守ってあげよう。
・歌唱時には、失敗をおそれず恥ずかしがらず、いつもたっぷりとした声を出して一生懸命演奏しよう。間違いから発見し、わかり、上手になります。
・合唱や楽器は楽譜（歌詞や演奏上の記号等）を覚えて演奏できるようになろう。
・学校行事への参加などを通して、いろいろな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てよう。
・自分で気づいた点や先生の説明・アドバイスなどは楽譜にメモをしよう。</td></tr>
<tr><td>家庭</td><td colspan="3">・楽譜を見直して、歌詞やメロディーが早く覚えられるように練習しよう。
・音楽のきまり（音符・休符・記号など）は家できちんと復習して覚えよう。
・口の開け方や、呼吸の方法などは鏡を見て研究しよう。
・鑑賞教材などは教科書とプリントをよく読んで復習しよう。</td></tr>
</table>

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①音楽への関心・意欲・態度	・音楽の表現について感心を持ち、意欲的に技能を修得したり、表現を工夫したりしようとすることができる。 ・音楽に関心を持ち、その仕組みや美しさを感じ取ろうとすることができる。 ・パート練習やグループ活動に積極的に参加できる。	学習活動への参加の仕方や態度、聴く姿勢 準備物　提出物 定期テスト 学習プリント　楽譜記入
②音楽表現の創意工夫	・音楽をより美しいものにしようとして、歌詞と「音楽を形づくっている要素（曲にふさわしい歌声や音色、リズム、メロディー、強弱など）や曲の構造などイメージをふくらませ表現することができる。	授業での演奏活動の様子 学習プリント 実技テスト　定期テスト

③音楽表現の技能	・のびのびと表現活動ができる。 ・呼吸や共鳴に気をつけて響きのある歌声で歌うことができる。 ・姿勢や奏法などを身につけることができる。	授業での演奏活動の様子 実技テスト（姿勢、口の開き方、声の大きさ、音程）
鑑賞の能力	・範唱や・仲間の演奏や発表を静かに、熱心に聴くことができる。 ・作曲者のことや、曲ができた背景を理解した上で鑑賞し、曲からさまざまなことを感じ取ることができる。 ・音楽を形づくっている要素（音色・強弱・速度・リズムなど）に基づいて聴き、自分が感じ取ったことを記述できる。	授業に取り組む姿勢 鑑賞の記録プリント 定期テスト（鑑賞について）

4 学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	・器楽「ギター」（昨年度未履修） ・「翼をください」 ・「君に会えたことに」 ・「夏の思い出」 ・「荒城の月」 ・リズムドリル ・鑑賞「フーガト短調」 ・合唱の練習	・ギターに興味を持ち、基本的な奏法について理解し、演奏する。 ・級友と共に歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を身につける。 ・パートの役割と全体の響きに気をつけて正しい音程・リズムでのびのびと歌うことができる。 ・言葉と旋律の関係を理解して、歌詞の表す情景や心情を感じ取って歌う。 ・歌詞の意味やブレス（呼吸の仕方）に関心を持ち、表現を工夫する。 ・歌詞の七五調の言葉の抑揚や旋律の雰囲気を感じながら歌う。 ・拍子のまとまり感、リズムパターンの反復や変化などを感じ取る。 ・パイプオルガンの音色、響きに関心を持つ。 ・楽曲の主題の発展を感じながら、旋律の重なりに関心を持って聴き取る。 ・バッハやバロック音楽について理解する。 ・積極的にみんなで協力して練習に取り組む。 ・自分のパートの音を正しく歌う。 ・曲の歌詞をよく理解し、イメージ画と歌詞研究をする。（夏休みの課題）
2	・合唱の練習 ・鑑賞「交響曲第5番」 ・鑑賞　歌舞伎「勧進帳」	・自分のパートの音を正しく歌う。 ・パートの役割と全体の響きに気をつけて歌うことで、混声合唱のハーモニーの美しさを感じる。 ・それぞれの学級の合唱の良さを意識して具体的に評価しながら聴く。 ・オーケストラの楽器や音色に関心を持つ。 ・音型の変化、発展、曲の構成（ソナタ形式）を感じ取る。 ・オーケストラの演奏の音色や表現の豊かさを味わって聴き取る。 ・ベートーベンや、古典派の音楽について理解する。 ・総合芸術としての特徴（歌、舞、伎）やそれぞれの役割を理解した上で、歌舞伎を鑑賞する。 ・伝統音楽の歴史に関心を持ち、日本の文化として捉える。 ・伝統音楽の特徴である発声や楽器の音色、間などを感じる。
3	・「旅立ちの日に」 ・「君に会えたことに・・」 ・鑑賞 歌劇「アイーダ」 ・鑑賞文楽「野崎村の段」 ・器楽ギター「カントリーロード」	・自分のパートの音を正しく歌う。 ・歌詞や曲想にこめられた思いを感じ取り、合唱にいかして歌う。 ・豊かな響きのある声で歌うことができる。 ・オペラに興味・関心をもって鑑賞する。 ・独唱、重唱、合唱それぞれの特徴や、オーケストラとの調和の効果を感じ取る。 ・総合芸術の諸要素（音楽・舞踊・美術・文学・演劇）の役割を感じ取る。 ・太夫、人形、三味線の特徴やそれぞれの役割を理解したうえで、文楽を鑑賞する。 ・ギターに興味を持ち、基本的な奏法について理解し、演奏する。（メロディ）

第2学年　　美術科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1 学習のねらい

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:『美術１ 』(日本文教出版) 『美術2・3上 』(日本文教出版) 『美術2・3下 』(日本文教出版) 補助教材:『美術資料』(秀学社)	持ち物	教科書、資料集、鉛筆(B，2Bなど)、色鉛筆、絵の具セット等

学習方法	学校	・小グループでの鑑賞活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・美術は忘れ物をしないことが特に重要です。忘れ物をなくそう。 ・道具の準備を済ませて着席するベル席に努めよう。 ・私語をなくし、集中して、根気強く作品作りに取り組もう。
	家庭	・アイデアを考える時間は授業時間だけでは不足です。家庭でしっかりと考え、準備しよう。 ・美術館や図書館に行き、造形作品などにふれ感性を豊かにしよう。

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①関心・意欲・態度	授業に積極的に参加しているか。 提出物の期限を守っているか。 美術に興味があり、創造する意欲があるか。	授業態度・持ち物の状況 提出物の状況・内容 定期テスト
②発想や構想の能力	課題をもとに感性や想像力をはたらかせて、独創的な発想ができるか。 対象やものごとを深くみつめ、創造的な構想ができるか。	アイデアスケッチ 制作過程 完成作品 定期テスト
③創造的な技能	制作する材料や道具を生かし、イメージしたものを表現できるか。 自分のイメージに合う表現方法を創意工夫し表現できるか。	制作過程の中での材料や用具の使用の様子 完成作品 定期テスト
④鑑賞の能力	自然や美術作品のよさや美しさを感じとり、味わうことができるか。 ともだちの作品を理解し、よさや美しさを感じとり味わうことができるか。 ・自分の制作を振り返り、客観的に自己の作品や制作態度を評価することができるか。	鑑賞レポート 作品の感想 定期テスト

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1 6月	前年度未履修分について取り組み ・富洲原中学校学校祭ポスター制作 ・鑑賞	 ・文化祭を振り返り、楽しかったこと、見てほしいことを訴えかけるポスターを制作できる。 ・1年生で学習したポスターカラーの使い方やレタリングの技能を生かす。 ・自分たちや過去の芸術家の作品を鑑賞し、作者の心情や表現のよさ、美しさを感じとることができる。
2 8月	・篆刻(石彫) ・鑑賞	・(印面)文字のバランスをとり美しくデザインすることができる。 ・(持ち手)用途に合った美しいデザインを立体で表現することができる。 ・効果的な道具の使用方法を身につける。 ・歴史的な美術作品を鑑賞し、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。
3 1月	・飲料パックのデザイン ・鑑賞	・作品制作に適した画材の選定ができ、表現に創意工夫ができるようにする。 ・自分たちや過去の芸術家の作品を鑑賞し、作者の心情や表現のよさ、美しさを感じとることができる。

第2学年　　保健体育科　学習計画　　四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

運動の楽しさや喜びを味わい、知識や技能を身に付けたり、体力を高め、運動を豊かに実践することができる。競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育み、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動ができる。個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。

2　学習を進めるにあたって

使用教材	教科書:保健体育(大修館) 補助教材:ワンダフルスポーツ(新学社)	持ち物	半袖体操服、ハーフパンツ、長ジャージ、体育館シューズ、教科書、ワンダフルスポーツ、筆記用具、ファイル等

学習方法	学校	・グループ等での活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・自分の体の調子を整え積極的に授業に参加しよう。 ・体操服や、シューズ、教科書など忘れ物をしないよう授業の準備をしっかりしよう。 ・先生や仲間の話を集中して聴こう。 ・仲間と楽しく学び合い、運動できるようコミュニケーションをはかろう。 ・あいさつや準備体操の号令は大きな声でしよう。 ・いろいろなスポーツに取り組んで体力をつけよう。
	家庭	・早寝、早起き、朝ごはんを目標に十分な休養、バランスの取れた食事に気をつけよう。 ・自分の健康と家族の健康に関心を持ち、規則正しい生活が送れるようにしよう。 ・家の周りを走ったり、縄跳びをしたり柔軟体操をして家でもからだを動かすよう心がけよう。 ・いろいろなスポーツに関心を持ちテレビや本や新聞、テレビなどから情報を得よう。

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①運動や健康・安全への関心・意欲・態度	公正、協力、責任などの態度を身につけ、健康・安全に留意し、運動の楽しさに触れ、全力で運動しようとしている。また、自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。	学習活動への参加の仕方、態度、見学など ファイル
②運動や健康・安全についての思考・判断	運動の特性に応じて自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返ることができる。	授業中の活動の様子 小テスト ファイル
③運動の技能	運動の課題や行い方や戦術を基に運動を行うことができ、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	授業中の活動の様子 実技テスト(スキルテスト)
④運動や健康・安全についての知識理解	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の結果の活用、運動の練習の原則および生活における運動の取り入れ方や意義に関する基礎的な知識を理解し、身につけ生かしている。	定期テスト 小テスト プリント(確認テスト、プリント等)

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	・オリエンテーション ・集団行動 ・体つくり運動 ・ラジオ体操 ・新体力テスト ・ハードル走 ・走り幅跳び ・バレーボール ・剣道 （昨年度未実習の内容） 〈保健〉「運動やスポーツの体への効果」 「健康と環境」	・必要な用具を準備し、真面目な態度で授業を受けることができる。 ・授業のルールや約束を守り、安全に留意して運動できる。 ・仲間と協力をして準備運動や準備、片づけができる。 ・運動に興味・関心を持ち、意欲的に練習に取り組むことができる。 ・ラジオ体操の順番や意義を理解し、大きな声で号令をかけて体操することができる。 ・自分の体力の現状を知り、昨年度と比較し、より一層の体力の向上を目指し、測定することができる。 ・ハードリングのフォームやインターバルの走り方を考えて、リズムを崩さずにハードルを飛び越していくことができる。 ・助走や踏み切りのタイミングを意識して、自分の能力に応じた跳び方ができる。 ・バレーボールの基本的なボール操作、個人技能を身につけることができる。仲間と協力して作戦を立て安全にゲームを行うことができる。 〈保健〉 ・運動やスポーツの体への効果について理解できる。 ・健康と環境について理解し、考えることができる。
2	・マット運動 ・バスケットボール ・長距離走 〈保健〉「運動やスポーツの心への効果」 「けがの防止」	・技のポイントを理解し、自分の能力にあった技を身に付けることができる。より美しくダイナミックな技をめざして練習することができる。 ・基本的なボール操作、個人技能を身につけることができる。仲間と協力して作戦を立て安全にゲームを行うことができる。 ・自己の体力やペースを知りよりよい記録を出そうと意欲的に取り組める。健康に留意し安全に練習し、自己管理ができる。 〈保健〉 ・運動やスポーツの心への効果について理解できる。 ・けがの防止について理解し、考えることができる。
3	・ダンス ・バドミントン ・剣道 〈保健〉「運動やスポーツの安全なおこない方」 「生活習慣病とその予防」 「喫煙・飲酒と健康」 「薬物乱用と健康」	・基本的なストロークやサービス、フットワークを身に着け、シングルスのゲームを楽しむことができる。 ・自分や仲間の技術的な課題を見つけ、課題克服に向けて練習することができる。 ・武道の歴史や内容に関心を持って授業に取り組むことができる。剣道の礼儀、基本動作を身につける。安全に練習をすることができる。剣道のルールを理解する。 〈保健〉 ・安全に運動やスポーツを行う必要性、方法について理解できる。 ・生活習慣病とその予防方法ついて理解し、考えることができる。 ・喫煙・飲酒と健康の関係を理解し、考えることができる。 ・薬物乱用と健康の関係を理解し、考えることができる。

第2学年　　技術科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

ものづくりなどを実際に行ったり、考えたりする中で、身の回りの生活に必要な基礎的な知識と技術を身につけよう。その中で、生活と技術とのかかわりについて理解を深め進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を身につけよう。

2　学習を進めるにあたって

<table>
<tr><td>使用教材</td><td colspan="2">教科書:技術・家庭　技術分野(東京書籍)
補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社)</td><td>持ち物</td><td>教科書、ファイル
資料集
作業時:体操服</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習方法</td><td>学校</td><td colspan="3">・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。
・授業中は先生の話を集中して聴き、指示通り安全に作業をしよう。
・まずは自分で考え工夫し、分からないことがあったら、友達や先生にたずねよう。
・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。</td></tr>
<tr><td>家庭</td><td colspan="3">・テストで間違えた問題は復習しておこう。
・生活の中での技術について興味を持とう。
・家でも、学んだことを生かしていこう</td></tr>
</table>

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 プリントの作成状況 定期テスト
②生活を工夫し創造する能力	生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 課題作品の様子 プリントの作成状況 定期テスト
③生活の技能	生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	課題作品の様子や製作工程 プリントの作成状況 定期テスト
④生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的な事項や生活と技術とのかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 定期テスト

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
2	生物育成に関する技術 ・生物を育てる技術の特徴 ・生物を育てるための計画と管理 ・生物育成に関する評価・活用 情報に関する技術 ・デジタル作品の設計・製作	・生物を育てる基本的な技術について説明できる。 ・作物の栽培を通して、種類や生育過程、環境条件について理解できる。 ・作物の栽培では、育てながら観察し、レポートにまとめることができる。 ・プレゼンテーションソフトを活用して、調べたことをわかりやすく伝えることができる。
3	情報に関する技術 ・プログラムによる計測と制御 ・情報に関する技術の評価・活用 エネルギー変換に関する技術 ・エネルギー変換と利用 ・エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・プログラミングを用いて、アーテックロボの制御をすることができる。 ・制御と自分との関わりを考え、どのように行動していくかを発表することができる。 ・情報モラル（著作権や個人情報）について理解し、説明できる。 ・電気機器の安全な使用について、理科の学習で学んだことを関連付けて理解できる。 ・身近な生活の中から、課題を見つけ出し、改善に必要なことを調べ、発表することができる。

第2学年　　家庭科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1 学習のねらい

衣服と社会生活とのかかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる力を身につける。衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修に関する基礎的技術を身につける。生活に役立つ小物の制作に取り組む。自分や家族の住空間について関心を高める。

2 学習を進めるにあたって

<table>
<tr><td>使用教材</td><td colspan="2">教科書:技術・家庭　家庭分野(東京書籍)
補助教材:新技術・家庭総合資料(正進社)</td><td>持ち物</td><td>教科書、ファイル、資料集、色鉛筆</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習方法</td><td>学校</td><td colspan="3">・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。
・授業中は先生の話を集中して聴き、わからないところは友達や先生にたずねよう。
・実習では説明をよく聴き、手本はしっかり見て実践しよう。
・配付プリントや定期テストはきちんとファイルに綴じよう。
・提出物の提出期限を守ろう。</td></tr>
<tr><td>家庭</td><td colspan="3">・テストで間違えた問題はそのままにせず、復習しておこう。
・家事仕事の手伝いを積極的に取り組もう。
・学習したことを家で実践してみよう。</td></tr>
</table>

3 評価について

評価観点		評価の場面・方法
①生活や家庭への関心・意欲・態度	衣生活や住生活について関心をもち、衣生活や住生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	学習活動への参加の仕方や態度 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
②生活を工夫し創造する能力	衣生活や住生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指してよりよくする為に工夫し、想像する。	授業での発言や取り組み内容 ファイルやノートの作成状況 定期テストやプリント
③生活の技能	衣生活の自立や住生活に必要な基礎的な技術を身につけている。	課題の取り組み状況 自習中の技能の習熟状況 実習記録への記入状況 自己評価
④生活や家庭についての知識・理解	衣生活や住生活に関する基礎的な事項やかかわりについて理解し、知識を身につけている。	授業での発言や取り組み内容 定期テストや小テスト

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1 6月	1年生の範囲　（お弁当の作り方）	お弁当の栄養バランスについて学び、詰め方、適量を知り、自分のお弁当について考えることができる。
	日常着の活用	・自分らしく衣服を着ることに関心を持ち、衣服をTPOに応じて選択できる。
	日常着の手入れ	・日常着の手入れと補修に関心を持つことができる。 ・衣服の表示や布の性質の特徴を理解できる。
	実習　基礎縫い 　　生活小物の製作	・裁縫に興味関心を持ち、能率のよい手順や方法を工夫し、班で協力し学びあうことができる。 ・基礎縫いを取り入れた小物の製作ができる。 ・玉結び、玉止め、並縫い、本返し縫い、ボタン付け、スナップ付けができる。 ・ミシンを正しく使用し、制作に活用できる。 ・実習後の後片付けや掃除ができる。
2 8月	これからの衣生活	・環境に配慮した選択や衣服の再利用について考え、実践できる。 ・不用になった衣服のゆくえや有効利用を考え、実践可能な案を考えることができる。
	住まいのはたらき	・自分の生活を振り返り、住居の機能について考え、プリントにまとめることができる。
	健康で快適に住まう	・住まいで起こる事故をイメージし、住まいの危険箇所を考え、安全な住み方を考えることができる。 ・住まいの役割、快適な住まいの条件、災害から身を守る工夫のある住まい方を理解できる。

第2学年　　英語科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1　学習のねらい

英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
【確かな学力】【豊かな心】【地球市民としての資質を備えた人間】の育成

2　学習を進めるにあたって

使用教材	教科書：*NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2*（三省堂） 補助教材：エイゴラボ2（正進社） 新学習指導要領追加補助教材（文部科学省）	持ち物	教科書 ノート エイゴラボ
学習方法	学校	・コの字型、小グループ等での話し合い活動に積極的に参加し、考えを深めよう。 ・基本文をよく理解し、覚えて使えるようにしよう。 ・先生やCDの英語をよく聴いて、正しい発音で言えるようにしよう。 ・間違うことを恐れないで、たくさん英語で話したり書いたりしよう。	
	家庭	・復習として本文を音読し、できれば暗唱しよう。 ・単語は意味や用法を理解し、文章で使えるようにしよう。 ・ワークの問題で復習をしよう。間違えたところを繰り返し復習しよう。	

3　評価について

評価観点		評価の場面・方法
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加している。 他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。 学習を通して、自分の英語力に向き合い、深い学びにつなげている。	授業のコミュニケーション活動への参加 授業時の準備と授業中の態度 提出物の状況 ALT（外国人英語指導員）との活動 ベーシック 学びのパスポート 家庭学習ノート
②外国語表現の能力	基本文法や単語などを用いて、自分の考え等を話したり書いたりすることができる。	課題での自己表現 テストなどの表現に関する問題
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど、相手が伝えようとする内容を理解することができる。 物語などの文章を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	テストなどの理解に関する問題 授業中の理解度
④言語・文化についての知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけている。 背景にある文化などを理解している。	テストなどの言語や文化に関する問題

4 学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	・Lesson9 USE Read ・Let's talk 9 ・Alice and Humpty Dumpty (昨年度未履修) ・Lesson 1 Aloha! 【異文化】 ・Lesson 2 Peter Rabbit 【異文化】 ・Lesson 3 The Ogasawara Islands 【自然科学・共生】	・日本の身近な年中行事について関心を持つことができる。　・理由を伝えることができる ・アリスの物語を、音声に注意して読むことができる。 ・イギリスの文学について関心を持つことができる。 ・一般動詞の過去形を理解し、使うことができる。 ・ハワイの伝統文化について関心を持つことができる。 ・be 動詞の過去形・過去進行形・接続詞 when を理解し、使うことができる。 ・ピーターラビットの物語を読むことができる。 ・未来を表す表現や接続詞 that を理解し、使うことができる ・自然環境の問題・保全について関心を持つことができる。
2	・Lesson 4 Enjoy Sushi 【伝統文化】 ・Let's Read 1 A Pot of Poison 【伝統文化】 ・Lesson 5 Uluru 【異文化】 ・Lesson 6 My Dream 【学び】 ・Lesson 7 Presentation 【学び】	・There is [are] ～.や動名詞を理解し、使うことができる。 ・日本の食文化について関心を持つことができる。 ・日本の古典をもとにしたとんち話を読むことができる。 ・日本の古典芸能について関心を持つことができる。 ・動詞 give や look の用法を理解し、使うことができる。 ・オーストラリアについて関心を持つことができる ・不定詞を理解し、使うことができる。 ・自分の将来像や将来の夢について考えることができる。 ・形容詞・副詞の比較級・最上級を理解し、使うことができる。 ・通信手段とコミュニケーションについて関心を持つことができる。
3	・Lesson 8 India, My Country 【ことば】 ・Let's Read 2 Landmines and Aki Ra 【人間・社会】	・受け身形を理解し、使うことができる。 ・インドについて関心を持つことができる。 ・平和への社会貢献をしている人の自伝を読むことができる。

第2学年　　道徳科　学習計画

四日市市立富洲原中学校

1 学習のねらい

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方（人間としての生き方）についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2 学習を進めるにあたって

使用教材	とびだそう未来へ中学道徳2（教育出版）		持ち物	教科書、ファイル 「道徳の授業を振り返って」（自己評価プリント）
学習方法	学校	・「他人事」ではなく「自分事」として考えよう。 ・物事を広い視野から多面的・多角的にとらえよう。 ・「考え、議論する」授業をめざして、コの字型、小グループでの話し合い活動に積極的に参加し、友だちの意見に耳を傾け、意見を交換し、考えを広げたり、深めたりしよう。		
	家庭	・自分たちの住んでいる地域に関心を持ち、家庭や地域の人々と話をしたり、積極的に関わったりしていこう。 ・社会のニュースに関心を持ち、現代的な課題を自分との関係において考え、解決にむけて取り組めることからやっていこう。		

3 評価について

道徳科の評価については、「特別の教科」の位置づけに見られるように、他教科のような**観点別評価は妥当ではない**と学習指導要領で示されている。そこで、以下の視点に考慮して、子どもたちの成長に関して記述評価することとする。

評価の視点	評価の場面・方法
毎時間の学習の様子はどうか。 （主に生徒の学習状況をとらえた評価）	① ノート や ワークシート ② 子どもの発言などの記録 （例えば板書の写し撮り・座席表など） ③ パフォーマンス ④ 子どもの自己評価 ⑤ 他の観察者の評価
自分事としてとらえたか。 （主に自分との関わりでの価値の深まりに関する評価）	
考えが深まったか。 （主に多面的・多角的な見方への発展をとらえた評価）	
変化がみられたか。 （主に道徳性にかかる成長の様子をとらえた評価）	

4　学習計画について

学期	学習計画	つけたい力
1	・先輩 A【自主，自律，自由と責任】 ・留学で考えさせられたお金 A【節度，節制】 ・まだ食べられるのに C【社会参画，公共の精神】 ・短所を武器とせよ A【希望と勇気，克己と強い意志】 ・わたしのせいじゃない C【公正，公平，社会正義】 ・たったひとつのたからもの D【生命の尊さ】 ・伝えるということ C【郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度】	・「自律的な行動とはどういうものか」について考えることを通して，学校生活をしっかりしようとする。 ・お金の意義や価値について考えるとともに，望ましい生活習慣を身につけ，節度を守り節制に心がけようとする。 ・まだ食べられる食品が大量に廃棄されている現状についての議論を通して，「食」という身近なところからよりよい社会づくりに関わっていこうとする。 ・短所の見方・考え方についての議論を通して，自分の短所に対する見方・考え方を変えて困難を乗り越えていこうとする。 ・「同じ人間でありながら違いが生まれるのはなぜか」について話し合うことを通して，社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする。 ・秋雪くんの生きる姿を見て，周囲の人がどう思ったかを捉えることを通して，精いっぱい生きていこうとする。 ・郷土の伝統と文化を継承してきた先人や高齢者に尊敬の念を深め，地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し，進んで郷土の発展に努めようとする。

2	・釧路湿原を守れ D【自然愛護】 ・一枚のはがき B【礼儀】 11　清掃はやさしさ C【勤労】 ・譲る気持ちはあるのに…… B【思いやり，感謝】 ・たすきとポンポン B【友情，信頼】 ・怒りの救助活動 C【遵法精神，公徳心】 ・SNSとどうつき合う？ A【節度，節制】 ・夜の果物屋 B【思いやり，感謝】 ・六千人の命のビザ C【国際理解，国際貢献】 ・違反摘発 C【遵法精神，公徳心】 ・五万回斬られた男・福本清三 A【向上心，個性の伸長】 ・最優秀 C【公正，公平，社会正義】 ・国境なき医師団・貫戸朋子 D【生命の尊さ】 ・狂言師・野村萬斎物語 C【我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度】 ・　飛鳥へ，そしてまだ見ぬ子へ C【家族愛，家庭生活の充実】	・環境を開発から守った人々の思いについての議論を通して，自然のすばらしさに気づき，環境保護のためにできる行動をしていこうとする。 ・礼儀を欠いていた「私」の心情を捉えることを通して，礼儀正しく生活していこうとする。 ・自分の仕事に誇りをもち，勤労の尊さや意義を理解し，将来の生き方について考えを深め，勤労を通じて社会に貢献しようとする。 ・「気持ちを形にするときに大切にしたいこと」を話し合うことで，思いやりの心について考えを深め，他者に親切にし，いたわろうとする。 ・望ましい人間関係を築き上げていくために，性別による違いを理解し，お互いを尊重しようとする。 ・「やってもらってあたりまえ」と思っていることについて考えることを通して，周りから受ける恩を感じ，守るべき正しい道としての公徳を大切にしようとする。 ・生活を振り返り，節度を守り節制に心がけ，安全で調和のある生活をしようとする。 ・少女の気づきに共感し，自分を支えている善意に目を向け，そのことに感謝し応えようとする。 ・杉原千畝の決断を通して，国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に寄与する大切さに気づき，千畝の生き方を通して学んだことを自分の人生に生かしていこうとする。 ・法やきまりの意義について考えることを通して，公徳心によって支えられた遵法精神を持つ。 ・「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して，自分自身が納得できる深い喜びを伴った意味ある人生を生きるための心得を模索しようとする。 ・嫌がらせに気づけなかった「私」の心情を捉えることを通して，いじめや差別がない社会をつくろうとする。 ・紛争という極限状況における貫戸朋子さんの判断についての議論を通して，命を大切にするとはどういうことなのかを考えていこうとする。 ・野村萬斎さんの狂言に対する思いを読み取らせることを通して，「伝統の継承や新しい文化の創造」のために寄与しようとする。 ・井村さんの手紙を読み，無私の愛情をもって育ててくれた父母や祖父母を敬愛し，家族を大切にしようとする。

3	・復旧にとどまらず，復興を～後藤新平～ C【社会参画，公共の精神】 ・語りかける目 D【よりよく生きる喜び】 ・本当の友達って B【友情，信頼】 ・海と空～樫野の人々～ C【国際理解，国際貢献】 ・三年生を送る会 C【よりよい学校生活，集団生活の充実】 ・風に立つライオン A【真理の探究，創造】 ・ハッチを開けて，知らない世界へ D【感動，畏敬の念】	・「社会の一員としてあなたがこれから心がけていきたいこと」についての議論を通して，これからの生活や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする。 ・人間には，弱さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し，人間として生きることに喜びを見いだそうとする。 ・本当の友情とは何かを考え，心から信頼できる友達をもち，互いに励まし合い，高め合うとともに，悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めようとする。 ・世界の中の日本人としての自覚をもち，国際的視野に立って，同じ人間として尊重し合おうとする。 ・三年生に感謝の気持ちをこめて送り出す行事に臨む姿勢を考えさせることで，教師や学校の人々を敬愛し，学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合い，集団生活の充実に努めようとする。 ・「風に向かって立つライオン」をイメージすることで，「志」をもって，新しいものを生み出そうとする。 ・体験したからこそ感じる宇宙や地球とのつながりについての話し合いを通して，人間の力を超えたものに対して，畏れ，敬おうとする。